

## 令和4年度 木屋保育所 自己評価

評価 → ◎・・・よくできている ○・・・ほぼできている △・・・努力が必要

項目	内容	評価
園運営	職員の業務分担を明確にしている。	○
	職員相互がそれぞれの立場を理解し、園運営にかかわっている。	○
	豊かな集団の育成を目指し、各クラスの連携が円滑に行われている。	○
	職員間で常に報告・連絡・相談の体制が機能している。	○
保育の理念 目標	保育理念・保育目標を職員、保護者に周知するために掲示している。	○
	保育理念・保育目標を全職員が共通理解をしている。	○
	すべての園児において、最善の利益と一人ひとりの人権を尊重している。	○
保育の 内容	保育指針に基づき、乳幼児の実態に即した指導計画を作成している。	○
	保育の計画、評価、反省を常に行い、よりよい保育を目指している。	○
	保育士は、自らの保育実践を自己評価し、専門性の向上や改善に努めている。	○
	子どもの気持ちを理解し、信頼関係を築いている。	○
	同年齢及び異年齢児間の効果的な保育活動の充実を図っている。	○
	行事の種類や実施回数は適切に行われている。	○
安全・環 境	園内外の安全点検を定期的に行っている。	○
	緊急時のために、関係機関等の連絡先が明示されている。	◎
	消防計画を作成し、毎月、避難訓練を行い、非常時に避難誘導できる体制をつくっている。地震や不審者侵入時の危機管理にも努めている。	◎
	安全で心地よく過ごせるよう、採光や換気、温度、湿度に配慮している。	◎
健康 管理	健康診断を年2回実施し、結果を保護者に伝えている。	◎
	感染症等の予防対策やマニュアルが整備されている。	○
	衛生面に配慮している。	○
給食	食育計画に基づき、楽しく食事ができる環境にしている。	○
	旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている。	◎
	食物アレルギーのある園児には適切な対応をしている。	○
保護者 対応	保護者への対応は丁寧に行い、不安や不信感を感じさせないように努めている。	○
	苦情解決の仕組みを掲示し、適切に対処している。	○
	個別懇談等で保護者との連携を図り、園児を理解するよう努めている。	○
守秘 義務	園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している。	○
	園児の個人記録は、個人情報保護法に基づき管理保管している。	○
地域 との 関わり	地域の行事に参加したり協力したりしている。	△
	高齢者や小学校との交流をしている。	△

### ※評価・よりよい保育を行っていくための改善策

- ・新型コロナの影響で地域の行事がなくなったり、高齢者施設との交流ができなかった。
- ・感染症予防については、消毒・園児の指導や対応等、職員の努力が見られた。
- ・防犯カメラや門扉に電気錠を設置し、その他室内外の安全対策を強化した。
- ・不適切保育について職員の共通理解を図り、状況に応じて適切な対応・保育が行えるよう保育の質の向上を目指したい。